

ランニングパトロールのすすめ



ランニングパトロール(通称:ランパト)とは、**防犯の視点を持って日常生活を送るという「ながら見守り」**のひとつで、ランニングをしながら「不審者(車)はいないか」などパトロールをしていただく活動です。



摂南大学の中沼教授にお話しを伺いました!



今月5日、大分県運転免許センターで開催された「犯罪の起きにくい社会づくりセミナー」で大阪府にある摂南大学の中沼文晃教授にお話しを伺いました。



ボランティアとランニングは似ている!?

ランニングでは、例えば、マラソンに参加したときに、結果はどうであっても、完走すれば『自分が1番頑張った。』という達成感や充足感を得ることができるため、次にまた挑戦しようという意欲が湧く。

ボランティアも同じで、活動をしている中で、一生懸命に取り組んだ結果、自分の活動への自信や子供達との良好な関係の構築ができたときに、達成感や充足感を得ることができるため、次の活動へ繋がる。



「うちが1番頑張ってる」と思わないと、続かない!

☆ランニングパトロールのやり方☆

①まずは『目立つ』格好で!



「防犯」などの文字入りのものだと、更に良いですね!

タスキや帽子でも



②準備運動をしっかりとしましょう



終了後の整理運動も忘れずに!



③スタート!



1グループ3~10人で2列になって実施。多すぎると他の通行の妨げになります。**徹底した安全管理を!**

「後ろ自転車きたよ!」など声を掛け合いましょう。

④行き交う人たちへ元気よく挨拶!



パトロックスです! おはようございます!
この挨拶が効果的!



「挨拶」のいいところ

①お互いが気持ちよい!

「お疲れ様」「頑張ってる」の言葉が返ってくることもあり、モチベーションの維持にも繋がります。

②「挨拶」が不審者への牽制になる!

相手の方を見ながら挨拶をすることで、犯罪を企てようと思っている人は、自分の存在に気づかれたかもしれないと感じ、思いとどまることも!

ランニングパトロールは、地域の「防犯力」が上がるうえ、健康維持にも繋がる!

特殊詐欺に効果的な対策をご紹介します



詐欺には
これだ!

“犯人と話をしない” 対策

えっ?また・・・?と思われた人もいるかも知れませんが…
大切なことなので何度でも言います!



犯人と話をしない対策①

言わずと知れた**迷惑電話防止機能付き電話機**

電話をかけてきた相手に「警告」+話している内容を「録音」する機能の付いた電話機で、詐欺被害防止に効果があることが立証されています。

家電量販店で販売されています。
購入を検討してみてもいいでしょうか。

詐欺などの犯罪被害防止のため録音します…



警告!
録音!

犯人と話をしない対策②

SMSから始まる詐欺を防ぐ!

SMS機能の設定

そもそも、「**サイト料金が未納**」「**法的措置に移行**」というようなメッセージを受けとらなければ被害に遭うことはありません。

電話帳に登録していない番号からのメッセージや、URLが貼り付けられたメッセージを拒否することで、被害に遭う可能性はぐんと下がります。



☆SMSの設定方法について☆

iOSの端末(iPhone)では、『設定』⇒『メッセージフィルタリング』で、迷惑メッセージの振り分けをすることが可能です。

Android端末では、端末で「連絡先登録外」のメッセージを迷惑メッセージとして振り分けることができるものもありますが、端末によっては、携帯電話会社が提供するサービスの利用で、拒否設定をするものもあります。

設定方法が分からない方は、各携帯電話販売会社にお尋ねください。



もし相手と話をしてしまったら…**まずはあわてないで!**
電話やメールで「**お金絡み**」「**個人情報絡み**」の話が出たときは、相手の言うまま、すぐに行動を起こしてはいけません。

相手にお金を払う前に**家族**や**警察**に**相談**を!